

<R08-No4 : 法規・条約>

次の a ～ e の文は、公共測量における測量作業機関の対応について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。 次の 1 ～ 5 の中から選べ。

- a. 測量作業の現場に社用車で向かうに当たり、運転者の状態の目視確認やアルコール検知器による検査により、出発前に運転者が酒気を帯びていないことを確認した上で現場に向かった。その日の運転終了時にも出発前と同様の確認を行った。
- b. 市街地で GNSS 観測をすることになったが、私有地にある樹木が支障になり観測ができなかった。事前にその土地の占有者に連絡がつかなかったため、作業員がその場で判断して観測の支障になる樹木を伐採し、後日その土地の占有者に連絡した。
- c. UAV レーザ測量において、作業前の機体点検に異常が無かったにもかかわらず、飛行中に機体が突然制御不能となり墜落した。物的及び人的被害はなかったが、航空法（昭和 27 年法律第 231 号）に基づき事態の詳細を国土交通大臣へ速やかに報告した。
- d. 基準点測量の現地調査において、私有の土地への立入りが必要となることから、土地の占有者への事前の通知と測量計画機関が発行する身分証明書の携帯を作業員に指示した。
- e. 屋外での測量作業中の地域に大雨特別警報が発表されたが、事前にハザードマップにより浸水が想定される地域ではないことを確認できていたことから作業を継続した。

- 1. a, c
- 2. a, d
- 3. b, c
- 4. b, e
- 5. d, e

